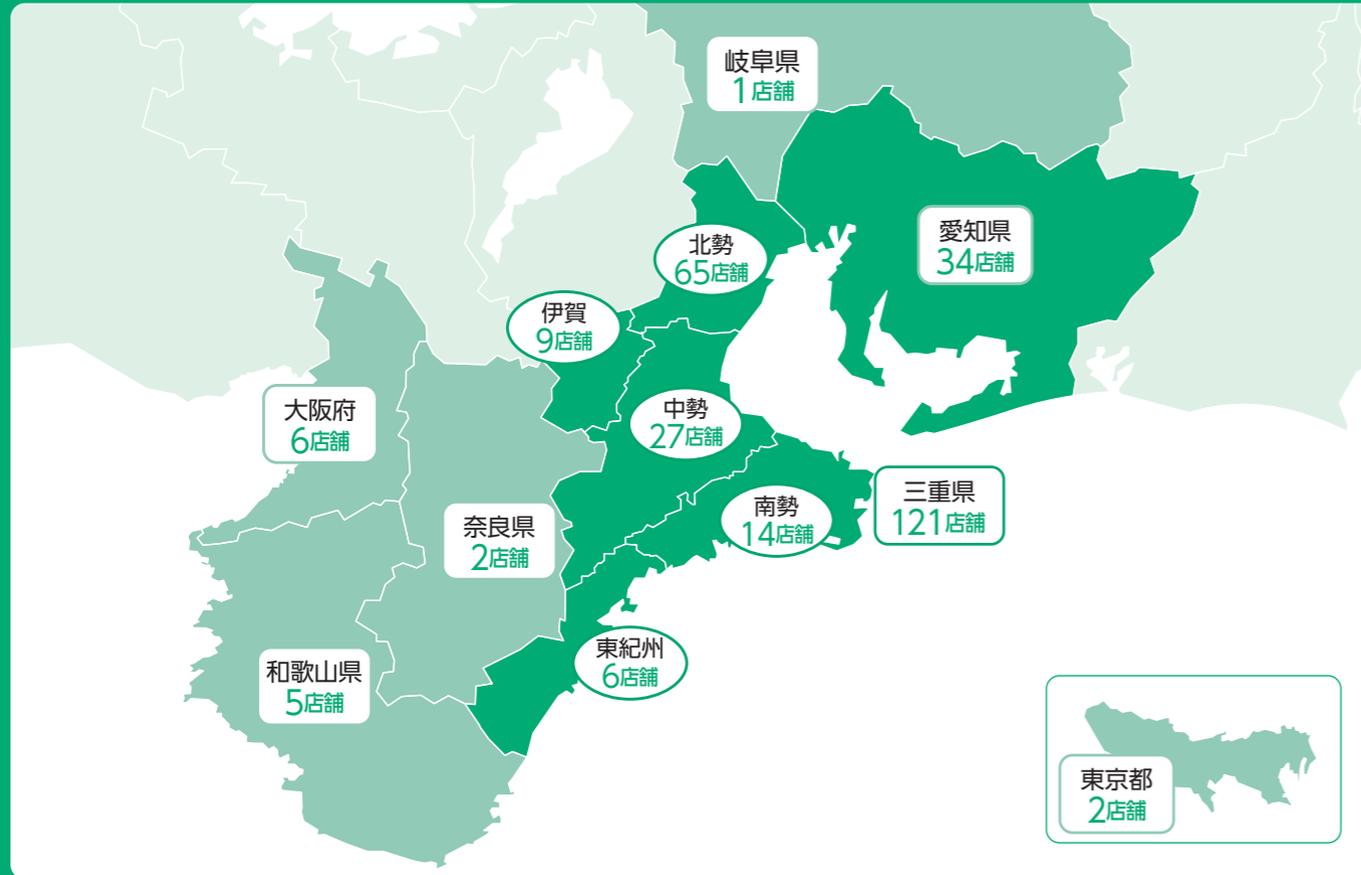


店舗ネットワーク



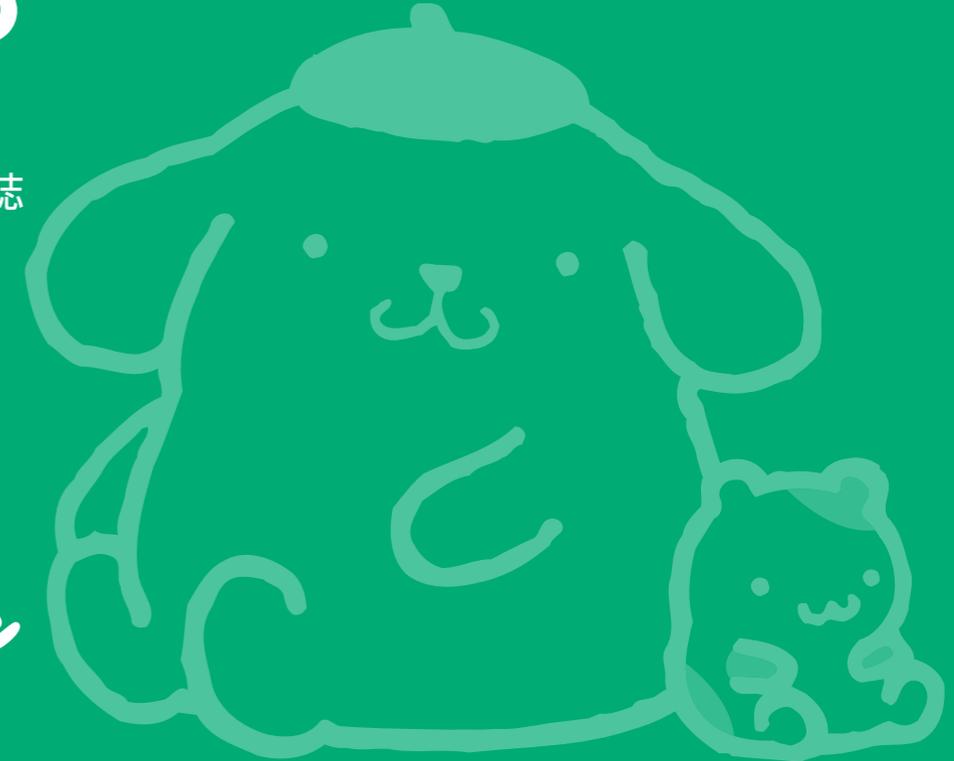
店舗数	三重	北勢	中勢	南勢	伊賀	東紀州	愛知	名古屋 市内	名古屋 市外	大阪	和歌山	奈良	岐阜	東京	合計
合計	121	65	27	14	9	6	34	24	10	6	5	2	1	2	171

※店舗数は2021年5月1日現在(ローンプラザは除く)



2021.3

営業のご報告 ミニディスクロージャー誌



ポムポムプリン

© 2021 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. L627302

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
 当社の子銀行である株式会社三重銀行と株式会社第三銀行は、2021年5月1日に合併し、「株式会社三十三銀行」を設立いたしました。
 新銀行設立に際しましては、皆さまより一方向ならぬご理解とご支援をいただき、深く御礼申し上げます。
 新たに誕生した三十三銀行では、「地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。」を経営理念といたします。これまで培ってきた両行の「強み」を完全に融合し、金融仲介機能を高度化させることで、より一層地域経済に貢献できる「質の高い地域No.1銀行」を目指してまいります。
 2021年4月からスタートした第2次中期経営計画では、「リレーション&ソリューションの深化」「経営の効率化・最適化」「強固な経営基盤の確立」の3つの基本方針を掲げ、それぞれで合併シナジーの最大化に取り組むことで、持続可能な地域社会の実現に向けたグループ総合力を発揮してまいります。
 今後とも一層のご厚誼ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長
岩間 弘

代表取締役社長
渡辺 三憲

2021年6月吉日

株式会社 三十三フィナンシャルグループ

会社概要(株式会社三十三フィナンシャルグループ)

商号 株式会社三十三フィナンシャルグループ
 本店所在地 三重県松阪市京町510番地
 本社所在地 三重県四日市市西新地7番8号
 設立 2018年4月2日
 資本金 100億円
 上場取引所 東京証券取引所第一部、名古屋証券取引所第一部

経営理念

地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。

シンボルマーク



【コンセプト】

「33」をモチーフにした2羽の鳥のシンボルマーク。
 この2羽の鳥は旧三重銀行と旧第三銀行を表すとともに、地域のみならずと三十三フィナンシャルグループを表現するものです。ともに大空へ羽ばたく姿は、地域と三十三フィナンシャルグループの成長と活力あふれる未来を描いています。

グループの概要



(子会社)		2021年5月1日現在	
三十三総研	シンクタンク	三十三信用保証	信用保証業務
三十三リース	総合リース業務	三重総合信用	信用保証業務
三重リース	総合リース業務	三十三コンピューターサービス	システム運用の受託業務
三十三カード	クレジットカード業務(VJA)	三重銀コンピューターサービス	システム運用の受託業務
第三カードサービス	クレジットカード業務(UC)	三十三ビジネスサービス	逓送便警備輸送業務

2021年5月1日 三十三銀行誕生!

三重銀行と第三銀行は、2021年5月1日に合併し、『三十三銀行』が誕生しました。

新生『三十三銀行』では、合併により両行の強みを完全に融合させ、これまで以上にお客さまと圧倒的なリレーションを構築し、お客さまの課題やニーズに対して多様なソリューションをご提供する「リレーション&ソリューション」をビジネスモデルとし、「質の高い地域No.1銀行」を目指してまいります。



▲5月1日、合併記者会見



▲三十三銀行として営業をスタート

会社概要(株式会社三十三銀行)

商号	株式会社三十三銀行
本店所在地	三重県四日市市西新地7番8号
発足	2021年5月1日
資本金	374億円
従業員数	2,539名(※2021年3月31日時点の旧三重銀行と旧第三銀行の2行単体合算)
店舗数	171店舗

■三十三銀行のホームページ開設 <https://www.33bank.co.jp/>

三十三銀行誕生まで

三重銀行

1895年 株式会社四日市銀行設立



▲蔵町本店(1910年)

1939年 株式会社三重銀行に改名改称



▲三重銀行としての開業日当日

1996年 東京証券取引所第一部上場

1998年 新本店竣工

2015年 創業120周年

第三銀行

1912年 熊野共融合資会社設立
1927年 組織変更により三重無尽株式会社設立



▲三重無尽株式会社本社

1951年 株式会社第三相互銀行に商号変更
1967年 熊野市から松阪市へ本店移転
1989年 株式会社第三銀行に商号変更
東京証券取引所第一部上場



▲商号変更セレモニー

2012年 創立100周年

2018年4月 両行の経営統合により、共同持株会社『三十三フィナンシャルグループ』設立

2021年2月 両行間にて、合併契約書を締結

2021年5月 両行が合併し、『三十三銀行』誕生!

ビジョン 質の高い地域ナンバー1金融グループ

地域のお客さまと圧倒的なリレーションを構築し、お客さまの経営課題やニーズに対して、多様なソリューションを提供することで地域に貢献する信頼度ナンバー1の金融グループを目指します。

位置づけ

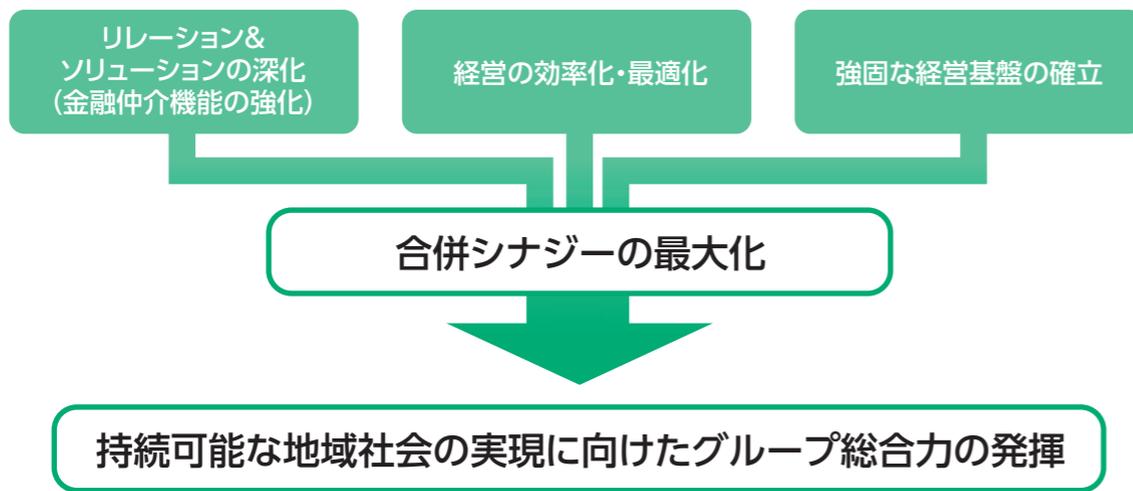
完全融合



本格的な成果実現

質の高い地域ナンバー1金融グループを目指し、合併により両行の強みを完全融合させ、本格的な成果の実現を通じて更なる成長に向けた取組みを強化する期間

基本方針



リレーション&ソリューションの深化

法人向けソリューション 本部の支援体制の整備・強化により、ライフステージに対応した質の高い多様なソリューションを提供いたします。

ライフステージに対応したソリューションの提供

創業期	成長・安定期	再生・転換期
<ul style="list-style-type: none"> ● ビジネスマッチング ● 補助金、助成金、利子補給活用支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 販路拡大支援・人材紹介業務 ● M&Aアドバイザー業務 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 33FGビジネスプランコンテスト ● 創業計画策定支援 ● 創業ファイナンス 	<ul style="list-style-type: none"> ● 独自ファンドを活用したLBOローン ● ストラクチャードファイナンス ● ABL、コベナンツ、シンジケートローン ● クロスボーダーローン 	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営改善計画策定支援 ● REVIC、再生ファンド等の活用による経営改善、事業再生、事業転換支援 ● 本部専担者による事業承継支援 ● 資本性ローン

個人向けソリューション 人生100年時代を見据え、お客さまの人生をトータルでサポートいたします。

ライフステージ・ライフイベントに対応したソリューションの提供

	若年層	資産形成層	資産活用・承継層
デジタル	<ul style="list-style-type: none"> ● インターネットバンキングを活用した資産形成・資産運用ソリューションメニューの拡充 ● WEB完結取引の拡充 		<ul style="list-style-type: none"> ● セルフ窓口端末、WEB予約サービス・面談サービスの導入 ● 諸届・帳票の電子化、印鑑レス、ペーパーレスの推進
資産形成		<ul style="list-style-type: none"> ● iDeCo、つみたてNISA、投資信託等の資産形成商品・サービスの充実 ● ほけんの窓口等による平準払い保険の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● ポイント制の拡充 ● SBIマネープラザとの共同店舗、大和証券との金融商品仲介
ローン			<ul style="list-style-type: none"> ● ローンプラザの有効活用等によるライフプランに対応したローン商品の提供(マイカーローン、住宅ローン、教育ローン、リバースモーゲージ等)

三十三フィナンシャルグループSDGs宣言

三十三フィナンシャルグループは、経営理念「地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。」のもと、企業活動を通じて国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献することで、持続可能な社会の実現に努めてまいります。



1. 地域経済の持続的発展への貢献



事業性評価に基づく融資や創業支援、事業承継、販路拡大、地方創生等、お客さまの課題やニーズに応じた最適なソリューションの提供に努めてまいります。

■「33FG ビジネスプランコンテスト」の開催

三重県・愛知県で創業・新事業を予定している法人・個人を募集し、2020年度は49件の応募がありました。このうち9件を表彰し、グループ全体で事業化に向けたサポートを行っています。また、2021年3月には表彰式および「起業家と経営者のビジネスミーティング」を開催し、起業家(2020年度および2019年度受賞者)による三重県中小企業家同友会や三十三ビジネスクラブ(※)の会員等に向けたビジネスプランのプレゼンテーションを通じて、ビジネスの更なる飛躍に繋がるネットワーク構築の機会を提供しました。

※三十三総研が運営する会員組織で、講演会・研修会・セミナー等の開催、法務・税務等の経営相談、各種情報の提供等を行っています。



▲2020年度表彰式

■人材紹介事業の開始(2020年12月～)

有料職業紹介事業の認可を取得し、人材紹介事業を開始しました。2021年3月には、内閣府の令和2年度先導的人材マッチング事業の間接補助事業者に採択され、経営幹部や管理職を中心とした人材の紹介により、取引先事業者さまの経営課題解決に努めています。

■三重県における観光による地域活性化に関する連携協定の締結(2020年11月)

三重県、百五銀行、桑名三重信用金庫、REVICと共同で「三重県における観光による地域活性化」に関する連携協定を締結しました。本協定に基づき、三重県が世界に誇る伊勢志摩地域を核に「伝統文化・自然遺産等を活用した観光による地域活性化」の実現に向けた取組みを共同で県内に広く推進してまいります。



▲三重県庁での締結式

■SDGs私募債の取組み

私募債を発行される企業さまから受け取る手数料の一部を活用して、SDGsの目標達成に向けて取り組む組織・団体(学校や福祉施設等)に対して寄贈品を進呈することで、地域の企業さまとともに持続可能な社会づくりに取り組んでいます。



▲寄贈者:近畿環境サービス株式会社様

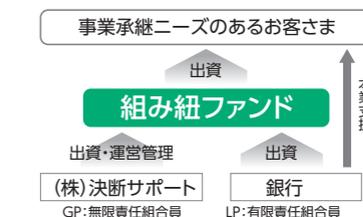


▲寄贈者:株式会社紀和マシナリー様

■事業承継応援ファンド「組み紐ファンド」の組成(2021年2月)

百五銀行、経営コンサルタント会社の株式会社決断サポートと共同で、地元中堅・中小企業の事業承継支援を目的としたファンド「みえ事業承継応援1号投資事業有限責任組合(愛称:組み紐ファンド)」を設立しました。

※本ファンドは、三重県伊賀市の伝統工芸である「組み紐」に、“オール三重”の力を結集させて事業承継を応援していきたいとの思いを込めています。



▲スキーム図

■ECモール「リージョネット三重」オープン(2021年5月)

2021年4月、三重銀行(現:三十三銀行)が「銀行業高度化等会社」の認可を取得したことに伴い、三重県の特産品を販売する「リージョネット三重」をECモールとしてリニューアルオープンしました。買い回りがしやすく、利便性の高いサイトへと生まれ変わりました。(https://mie.regionet.ne.jp)





2. 持続可能な地域社会の実現



地域の文化活動、福祉活動およびスポーツ振興の支援や金融リテラシー教育等の提供に努めてまいります。

■三十三ふるさと文化財団(旧三銀ふるさと文化財団)

公益財団法人三十三ふるさと文化財団(理事長:岩間 弘)は、社会貢献事業の一環として地域文化の発展と向上に貢献された個人および団体を表彰する顕彰事業と定期コンサートを行っています。

なお、2020年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、定期コンサートは中止しました。



▲2020年度表彰式

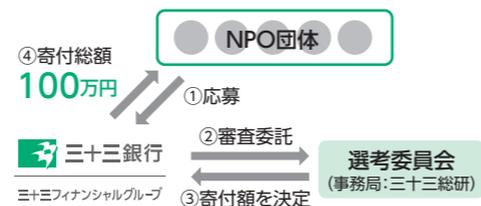
■「三十三フィナンシャルグループ NPO 応援基金」による寄付

「NPO 応援基金」として、地元 NPO 団体に寄付を行い、活動を応援しています。

2020年度は「環境保全」「次世代育成支援」「ダイバーシティ」を主な活動分野とする 12 団体に対し、総額100万円を寄付しました。

寄付団体の紹介を当社ホームページに掲載しています。

(<https://www.33fg.co.jp/company/pdf/kihu2020.pdf>)



■スポーツ振興による次世代育成支援

地域のスポーツ振興による次世代育成を図ることを目的として、小学生を対象としたサッカー、テニール、ミニバスケットボールなどスポーツイベントの開催・協賛等を行っています。



▲33FG杯 U12 三重県選手権(少年サッカー大会)



3. 地域の環境保全



地域における環境活動や環境に配慮した金融商品・サービスの提供に努めてまいります。

■御在所岳山頂での植樹支援(2020年 10 月)

2011年より継続して、御在所ロープウェイ株式会社ならびに認定NPO 法人森林(もり)の風が行っている御在所岳の樹木の保全活動に協力しています。



▲御在所岳山頂 レストラン「ナチュラル」より

■「熊野古道定期」にかかる寄付金贈呈

お客さまからお預けいただいた「熊野古道定期」の残高に応じて 2005年より毎年寄付を行っており、寄付金は東紀州地域振興公社を通じて、世界遺産である熊野古道の保全活動に活用されています。



▲寄付金の贈呈式



4. 働きがいのある職場づくり



女性の活躍支援をはじめ、性別や年齢を問わず全ての職員が働きがいを持って活躍するための人材育成や労働環境整備等に取り組んでまいります。

■健康経営優良法人の認定取得(2021年 3 月)

経済産業省および日本健康会議が実施する「健康経営優良法人認定制度」において、三重銀行では初めて、第三銀行では 2 年連続「健康経営優良法人2021(大規模法人部門)」として認定されました。



三十三銀行でも、引き続き役職員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に健康経営に向けて取り組んでまいります。



5. 健全経営の実践



コンプライアンスの遵守やリスク管理体制の強化を図り、健全経営の実践に努めてまいります。

■取締役会のバランス

社外取締役の構成比を 3 分の 1 以上とし、監督機能の強化を図っています。

三十三フィナンシャルグループ

三十三フィナンシャルグループ連結 (単位: 億円)

科目	2021年3月期	
	実績	前期比
経常利益	34	△27
親会社株主に帰属する当期純利益	41	0
自己資本比率	8.71%	0.30%

2021年3月期の業績につきまして、経常利益は信用コストが増加したことから、前期比27億円減益の34億円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損益の増加により前期並みとなりました。

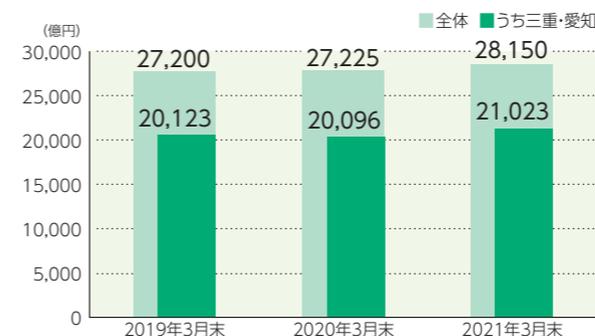
2行合算(単体) (単位: 億円)

科目	2021年3月期					
	2行合算(単体)		旧三重銀行(単体)		旧第三銀行(単体)	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
業務粗利益	510	30	231	3	279	26
うち資金利益	375	7	171	2	203	5
うち役務取引等利益	95	2	53	5	42	△2
経費	387	3	187	4	199	△0
コア業務純益	99	11	49	5	50	5
業務純益	88	△13	27	△15	61	2
経常利益	91	△4	43	△14	48	9
当期純利益	104	34	23	△14	80	48

貸出金残高(2行合算(単体))

2兆8,150億円

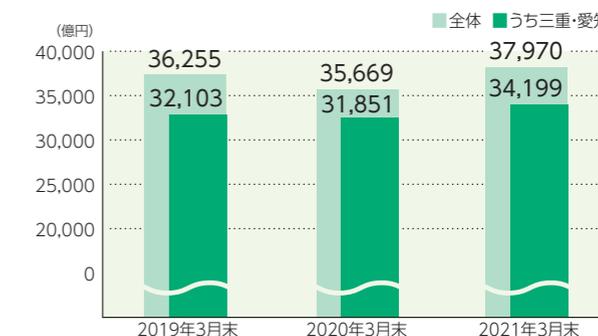
貸出金は、中小企業向け融資を中心に増加し、前期末比924億円増加しました。



預金・譲渡性預金残高(2行合算(単体))

3兆7,970億円

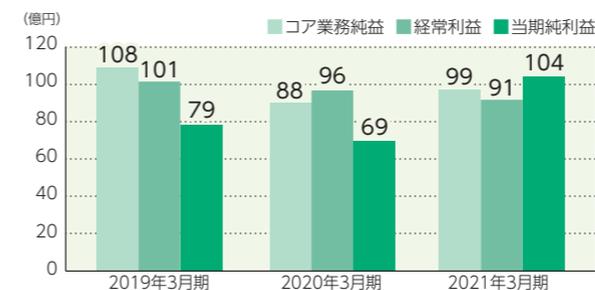
預金・譲渡性預金は、個人預金、法人預金ともに増加し、前期末比2,301億円増加しました。



利益(2行合算(単体))

コア業務純益 **99億円** 経常利益 **91億円** 当期純利益 **104億円**

資金利益・非金利収益ともに増加した結果、コア業務純益は前期比11億円の増益となりました。経常利益は信用コストの増加により同4億円の減益となりましたが、当期純利益は特別損益の増加により同34億円の増益となりました。



自己資本比率(33FG連結・国内基準)

8.71%

不良債権比率(2行合算(単体))

2.33%

格付け

日本格付研究所(JCR)
長期発行体格付
債務履行の確実性は高い



■ IR・CR活動

投資家への情報発信活動(IR活動)として、2020年12月に電話会議形式にて「機関投資家等向け会社説明会」を開催いたしました。

地域への情報発信活動(CR活動)として、毎年各地域にて開催してまいりました「お客さま懇親会」については、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、中止いたしました。



▲IR資料は当社ホームページにてご覧いただけます。

■ 株主優待制度

①株主優遇定期預金

対象となる株主さま	基準日時点で当社株式70株以上をお持ちの株主さま
対象となる預金の種類	スーパー定期1年もの
適用金利	預入時の店頭表示金利+0.25%
預入金額	10万円以上、100万円以下
預入期間	1年
取扱銀行	三十三銀行の窓口

※毎年3月31日、9月30日を基準日とします。(年2回)

②カタログギフト

対象となる株主さま	基準日時点で当社株式500株以上をお持ちの株主さま
内容	株主総会の決議ご通知発送時に同封するカタログから、お好みの商品をお選びいただけます。(5,000円相当)

※毎年3月31日を基準日とします。(年1回)
・優待内容については、今後、見直しさせていただく場合がございます。

■ 単元未満株式の買取(ご売却)・買増(ご購入)請求、住所変更等の各種お手続きについて

証券会社等に口座をお持ちの株主さま……お取引のある証券会社等にお問い合わせください。

証券会社等に口座をお持ちでない株主さま……右記の日本証券代行株式会社にお問い合わせいただくか、日本証券代行株式会社ホームページ(<https://www.jsa-hp.co.jp/>)上の「株式に関するお手続き」をご参照ください。

■ 未受領の配当金等に関するお手続きについて

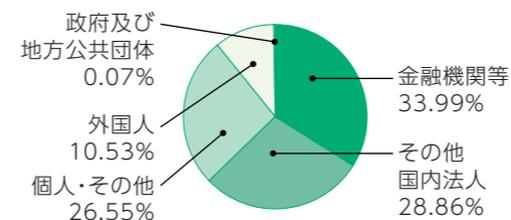
当社の株主名簿管理人である日本証券代行株式会社にお問い合わせください。☎ 0120-707-843

(未受領の配当金につきましては、日本証券代行本支店及び三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。)

■ 株式の状況(2021年3月31日現在)

発行済株式の総数	30,367,585株
普通株式	26,167,585株
第一種優先株式	4,200,000株
株主数	
普通株式	15,345名
第一種優先株式	1名

■ 普通株式所有者別分布状況(2021年3月31日現在)



■ 株式のご案内

- 事業年度……毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会……毎年4月1日から3カ月以内に開催いたします。
- 定時株主総会の基準日……毎年3月31日
- 公告の方法……電子公告により行います。
【公告掲載URL】<https://www.33fg.co.jp/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

- 上場証券取引所……東京証券取引所市場第一部
(普通株式)
名古屋証券取引所市場第一部
- 証券コード……7322
- 1単元の株式の数……100株(証券市場での売買単位)
- 株主名簿管理人……日本証券代行株式会社
(特別口座管理機関)
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

郵便物送付先
及び
電話お問い合わせ先

日本証券代行株式会社 代理人部
〒168-8620
……東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話 0120-707-843(フリーダイヤル)
受付時間(平日9:00~17:00)

■ ホームページによる情報開示

当社のホームページを開設しております。財務・IR情報、株式関係情報、ニュースリリースなどホームページからご覧いただけます。

三十三フィナンシャルグループ

検索

<https://www.33fg.co.jp/>